



DxO Optics Pro v4.0.1 に関するリリースノート

v 4.0.0と比較しての改善点

- コンピュータシステムの特定な設定において発生していた、起動後のクラッシュの問題は解決しました。
- フランス語版とドイツ語版でも、アウトプット設定でカスタム解像度とカスタムサイズが利用できるようになりました。
- 全ての言語版で、翻訳上の校正を行いました。

DxO Optics Pro v4.0.0 に関するリリースノート

既知の問題点

- 《画質向上》タブに関して：
 - DxO Color - マルチポイント カラーバランス
 - 設定パネル (四角いボックス) の色表示とプレビューの色表示が一致しない。 (DxO Lighting, HSL とトーンカーブは設定パネルのカラースクエアには適応されません。) これはカラーレンディングが変更されたことを意味するものではありません。プレビューの色表示が、処理された画像の実際の色表示です。
 - 処理前 / 処理後の画像が並んで表示される時、ハンドツールで画像内の移動が出来ない。
解決方法 : プレビュー表示に対応する《ズーム》パネル内の《緑の四角い枠線》を移動してください。
 - Exif エディタ : エディタ内で、ある種の特異な文字 (# や \$) を使うと、補正処理が出来なくなります。
- 《処理》タブに関して
 - Tiff形式 8ビットの画像圧縮アウトプット : 画像によってはTiffの圧縮アウトプットファイルが元のファイルよりサイズが大きくなる。これは画像の内容によりです。
 - 一括処理作業中の作業進行状況表示バーが実際の進行状況と食い違う。
 - 《失敗》エラー、または《API ステータスが不明 : x x (数字) 》メッセージが出る。
 - 画像が何らかの理由で処理不可能な場合にエラーが出ます。
解決方法 : 画像の補正処理を再度行ってください。
 - ファイル名、及びファイルパスに“&”が使われている画像の処理は出来ません。

- 《ビューワー》
 - 《全てのバッチ処理》を選択すると、スクロールバーが使えません。
- 《ヘルプ》がヘルプメニューから利用できない。
 ユーザーズガイド (リファレンスマニュアル) は、DxO Optics Pro v4
 のフォルダの“Doc (文書)”フォルダに入っています。
- 《言語選択》のドロップダウンメニューで、正しく表示されない言語があります。
- キヤノン製カメラのTiff形式画像にあるメーカーノートは、DxO Optics Pro
 で処理された後、標準的Exifリーダーツールで読めなくなります。
- ニコンキャプチャ / ニコンビューに関して :
 - ニコンキャプチャを使って回転した後、DxO Optics Pro
 で補正処理され、Tiff形式で保存されたJPEG画像は、再びニコンキャプチャで開くことが出来ませ
 せん。
 - ニコンキャプチャを使って回転した後、DxO Optics Pro で補正処理されたJPEG
 画像のサムネイルは、ニコンキャプチャで再び開いたとき正しく回転されていません。
 - ニコンキャプチャまたはニコンビューを使って回転した後、DxO Optics Pro
 で補正処理され、Tiff形式で保存されたRAW 画像のサムネイルは、ニコンキャプチャ
 またはニコンビューで再び開いたとき正しく回転されていません
- プラグインに関して
 - DxO Optics Pro を使ってDNG形式で補正処理されたファイルをフォトショップに
 インポートすると、エラーメッセージが出る。
解決方法 : 《OK》ボタンをクリックすれば、画像はカメラのRAW情報と一緒にフォトショップ
 内に正しくインポートされます。

お客様へのお願い:

- DxO Color パネルで補正を行うとき、パネル内で表示されているのと同じ順番で補正作
 業を行ってください。(補正項目をリストの一番上から順番に適応。)
- ジオメトリ補正中、キーストーン / 水平補正をする前に、まずディストーション補正の設定を、スライダー
 またはボタンで行ってください。
- カスタムICC プロファイルをインポートする際に、お客様の使っているプロファイル
 で定義されたカラーレンディングを変えたくない時は、マルチポイント カラー balan
 スツールと《ポートレート》と《景色》の2つのカラーモードを使わないでください。